

学校関係者評価報告書

愛媛県立宇和島東高等学校

評価実施日

平成 27 年 2 月 19 日 (木)

評 価 ・ 提 言 等

提言等に対する改善策等

1 自己評価の各領域について

(1) 生徒の自己実現

ア 学校評価アンケートのわかる授業の実践についての項目では、教員の自己評価は高いが、生徒・保護者の評価はそれに比べると低くなっている。魅力的で生徒が楽しいと感じる要素が入ってくれば改善されるのではないかと。

イ 全国的な学習時間の低下が問題となっている中、全体的に学習時間が多く、特に3年生は大幅に家庭学習時間が増加している。これは明確な目標ができたからではないかと。学習時間が増加した理由を分析して、1・2年生の指導にも生かしてほしい。また、学習時間調査も改善すれば生徒自身が生活全体を見直すことができるのではないかと。

ウ 研究発表や外部コンテストなどに積極的に参加し成果を上げており、高く評価できる。今後は、上位入賞を目指して更に頑張ってもらいたい。

(2) 心身健康で豊かな心

ア 心身健康で豊かな心は、今、社会で求められている人格形成の中で最も重要なものだと思う。今後も社会で活躍できる生徒の育成が必要である。身だしなみや挨拶等、更なる充実を目指して指導を継続してほしい。

イ 様々な取組を行っているにも関わらず図書館利用の評価が低い、冊数は増えている。読書で豊かな心を育むためにも継続して取り組んでもらいたい。また、年間10冊以上という目標は高すぎるのではないかと。地元の情報誌「きずな」などの小冊子も読んだ本として入れてもいいのではないかと。

(3) 魅力ある特別活動

ア 学校行事の満足度も高く、部活動も盛んに行われ全国レベルでの成績を多く残したことは大いに評価できる。伝統ある部活動の更なる活躍を期待したい。

イ 1学期に学校行事が集中しているが、学校評価アンケートの学校行事の日程に関する項目で保護者と生徒の評価は高く、生徒にはそれほど負担となっていないようである。しかし、教職員の評価は低く、負担となっていることが心配される。

2 説明・公表について

市内に中等教育学校があるが、小学校ではほとんど進路指導をしていない。小学校や小学生の保護者に対しても、学校の取組や成果を積極的にアピールしていく必要がある。

3 学校運営について

校長や経営方針についての評価が高い。明確な目標を設定しリーダーシップを発揮した結果であり、学校全体の取組の評価も右肩上がりである。今後も、よりよい学校作りに努めてもらいたい。

1

(1)

ア 各教科で授業方法や理解できていない生徒の対策について検討する。また、校内外の研修に積極的に参加し校内研究授業や公開授業を参観して、自己研さんに努める。

イ プロフェッショナルとの交流会やACEの時間を通して、早期に目標設定ができるようにする。また、学習時間調査の内容を検討し改善するとともに、学習時間の取り方や生活について助言をしていきたい。さらに、新入生に対し学習法理解オリエンテーションを実施し、学習方法を確認させたい。

ウ 課題研究テーマを精選するとともに活動環境を整えて、生徒が積極的・自主的に取り組めるように指導していきたい。

(2)

ア 時期に応じた面接や学校生活についてのアンケート調査などを通して、生徒理解に努める。また、身だしなみや挨拶の指導については、全教職員で取り組んでいきたい。

イ 図書委員会の活動を活性化し、週1回図書案内の放送やビデオバトルなど継続して行い、啓発活動に努める。また、来年度は年2回朝読週間を設定し、本に触れる機会を増やしたい。

(3)

ア 指導力を向上させ、更に活気ある部活動にしたい。全国大会には個人種目での出場が多く、団体での出場の増加を目指したい。

イ 日程を工夫するとともに、実施要項を早めに作成して準備が効率的に行えるようにする。

2

小学校にもSSH研究開発実施報告書を送付するなどして、今後も広報活動を続けていきたい。また、小学生等を対象とした自然科学教室等を開き、積極的にアピールしていきたい。

3

本校のあるべき姿を理解し、全教員で取り組み努力していきたい。